

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 06-6368-7802

四半期報告書提出予定日 平成21年8月6日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,350	△18.4	30	△74.9	101	△55.3	67	△50.6
21年3月期第1四半期	4,105	—	123	—	227	—	136	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.07	—
21年3月期第1四半期	6.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	20,806	17,398	83.6	788.90
21年3月期	21,860	17,440	79.8	790.79

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 17,398百万円 21年3月期 17,440百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	8,100	△12.6	240	△30.7	380	△26.4	210	△26.5	9.52
連結累計期間	16,700	△12.0	690	△6.8	950	△11.5	440	△7.4	19.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 24,771,561株 21年3月期 24,771,561株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,716,751株 21年3月期 2,716,743株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 22,054,816株 21年3月期第1四半期 22,486,722株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機が实体经济に波及したことにより企業収益が悪化すると共に、雇用・所得環境の厳しさから、引き続き個人消費が低迷する状況で推移いたしました。

ファッション業界におきましても、生活防衛意識の高まりによる消費マインドの冷え込みに加え、新型インフルエンザの影響もあり、非常に厳しい状況が続きました。

このような環境のもと当社グループでは、「効果性の高い事業への経営資源の集中」、「他社と明確に差別化できる独自性の追求」を基本方針に、アパレル及びファッショングッズ部門におきましては、消費者からの更なる安心・信頼・満足を勝ち得るべく、高品質・高品位の「強いものづくり」の継続を基本に、引続き複数の自社ブランドで構成される複合ブランドショップ（それぞれのブランドがそのコンセプトを明確に表現しているショップ）の開発、「店頭活性化マニュアル」の徹底活用による店頭運営力の向上を推進いたしました。

一方、テキスタイル部門では、「プリントのプロ集団」であることが事業の基軸であることを基本に、プリントを中心とした企画提案型テキスタイルコンバーターとしての地位を確固たるものとするべく、意匠企画力の向上による高感度・高品質商品の提供を行うと共に、新規得意先の開拓にも注力いたしました。また、グループとしては、より一層の生産コストの合理化や経費の節減に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は33億50百万円、経常利益は1億1百万円、四半期純利益は67百万円となりました。

事業部門別売上高は以下のとおりであります。

事業部門別売上高

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期 連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日		増 減		前連結会計年度 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
		%		%		%		%
ア パ レ ル	3,049	74.3	2,614	78.0	△ 435	△14.3	14,472	76.3
テ キ ス タ イ ル	710	17.3	420	12.6	△ 289	△40.8	2,857	15.1
フ ァ ッ シ ョ ン グ ュ ズ	338	8.2	307	9.2	△ 31	△9.2	1,602	8.4
そ の 他	7	0.2	8	0.2	0	6.6	42	0.2
合 計	4,105	100.0	3,350	100.0	△ 755	△18.4	18,975	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は208億6百万円となり、前連結会計年度末比10億54百万円の減少となりました。

また、純資産は173億98百万円となり、前連結会計年度末比41百万円の減少となり、自己資本比率は83.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは1億95百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは84百万円減少いたしました。これは主に、専門店・百貨店への店舗内装設備への支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1億77百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億58百万円減少し、65億61百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに当該影響を加味して算出したものを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,831	7,290
受取手形及び売掛金	1,857	2,530
商品	2,659	2,610
原材料及び貯蔵品	37	50
繰延税金資産	225	253
その他	409	312
貸倒引当金	△105	△113
流動資産合計	11,914	12,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,244	2,287
土地	3,649	3,649
その他(純額)	450	465
有形固定資産合計	6,345	6,402
無形固定資産		
	77	80
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177	1,064
長期貸付金	34	44
繰延税金資産	171	221
差入保証金	802	823
その他	400	414
貸倒引当金	△118	△121
投資その他の資産合計	2,468	2,445
固定資産合計	8,891	8,927
資産合計	20,806	21,860

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,390	1,804
短期借入金	380	380
未払法人税等	14	240
賞与引当金	149	373
役員賞与引当金	2	12
返品調整引当金	8	22
その他	676	782
流動負債合計	2,622	3,615
固定負債		
長期借入金	70	70
退職給付引当金	348	360
長期未払金	231	236
その他	134	138
固定負債合計	785	804
負債合計	3,407	4,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	7,540	7,649
自己株式	△744	△744
株主資本合計	17,269	17,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129	62
評価・換算差額等合計	129	62
純資産合計	17,398	17,440
負債純資産合計	20,806	21,860

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,105	3,350
売上原価	1,796	1,504
売上総利益	2,308	1,845
販売費及び一般管理費	2,185	1,815
営業利益	123	30
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	20	18
受取地代家賃	56	44
その他	30	16
営業外収益合計	119	93
営業外費用		
支払利息	0	1
貸貸費用	—	11
その他	14	9
営業外費用合計	15	22
経常利益	227	101
特別利益		
固定資産売却益	4	—
貸倒引当金戻入額	9	10
特別利益合計	13	10
特別損失		
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	240	107
法人税、住民税及び事業税	52	8
法人税等調整額	51	31
法人税等合計	103	39
四半期純利益	136	67

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	240	107
減価償却費	136	103
その他の償却額	10	10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△179	△223
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△9
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△35	△14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5	△11
受取利息及び受取配当金	△32	△32
支払利息	0	1
固定資産売却損益 (△は益)	△3	—
固定資産除却損	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	520	669
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△165	△35
仕入債務の増減額 (△は減少)	△571	△414
その他	△124	△163
小計	△226	△17
利息及び配当金の受取額	33	32
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△105	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	△300	△195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△160	△69
有形固定資産の売却による収入	11	3
無形固定資産の取得による支出	—	△41
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△9	△1
貸付金の回収による収入	18	10
差入保証金の差入による支出	△13	△24
差入保証金の回収による収入	3	45
その他	△10	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△1
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△247	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	△177
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△710	△458
現金及び現金同等物の期首残高	6,337	7,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,626	6,561

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める衣料品等繊維品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める衣料品等繊維品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。